【令和２年度】

**「動物の愛護と管理」に関するアンケート　リサーチプラン**

**１　調査の背景と目的**

大阪府では、「人と動物とが共生できる社会の実現」をめざし、平成20年3月に「大阪府動物愛護推進計画」を策定し（平成26年4月改定）、犬・猫の引取り数の削減及び犬・猫の返還譲渡率の向上の具体的な目標数値を掲げ、様々な施策に取り組んでいる。

このたび、国が「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」を令和２年４月に改正したことを受け、上記計画及び「おおさか動物愛護アクションプラン」の改正について検討するため、これまでの動物愛護管理施策等に対する府民意識や理解度を確認する。

**２　調査（検証）項目**

（１）「おおさか動物愛護アクションプラン」の目標数値の確認

（２）ペットの終生飼養に関する意識

仮説１　ペットを飼っている人のうち１人暮らしの人は、それ以外の人に比べて、ペットを最後まで飼えないと思う割合が高い。

仮説２　ペットを飼ったことがない人は、飼ったことがある人に比べ、飼えなくなったときに行政や第三者へ譲り渡すことについて「すべきではない」と思う割合が高い。

仮説３　ペットを飼ったことがない人は、飼ったことがある人に比べ、動物の譲渡制度を知らない割合が高い。

（３）野良猫の被害経験による意識

仮説４　野良猫による被害を経験したことがある人は、そうでない人に比べ、野良猫への餌やりを「悪いこと」だと思う割合が高い。

**３　調査対象**

国勢調査結果（平成2７年）に基づく性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、

1８歳以上の大阪府民1,000サンプル

**４　質問項目**

**■予備質問　５問**

SC１　性別

SC２　年齢

SC３　都道府県

SC４　市町村

SC５　１人暮らしか否か（SA）

**■本質問　２２問**

Q１　【全員】ペットを飼った経験（SA）

**≪適正飼養≫**

Q２　【現在飼っている人】ペットの種別（SA）

Q３　【犬または猫を飼っている人】不妊・去勢手術の実施状況（SA）【目標数値】

Q４　【犬または猫を飼っている人】所有者明示措置の実施状況（SA）

**≪終生飼養≫**

Q５　【ペットを飼ったことがある人】ペットを手放した経験があるか（SA）

Q６　【手放したことがある人】どのように対応したか（MA）

Q７　【現在飼っている人】最後まで飼えないと思うことがあるか（SA）

Q８　【全員】飼主の終生飼養責任に対する認識（SA）【目標数値】

Q９　【全員】飼えなくなったときに、行政に引き取ってもらうことに対する考え方（SA）

Q10　【全員】飼えなくなったときに、第三者へ譲り渡すことに対する考え方（SA）

**≪譲渡制度≫**

Q11　【全員】府の動物譲渡制度の認知（SA）【目標数値】

　Q12　【知っている人】何で・どこで知ったか（MA）

　Q13　【ペットを飼ったことがある人】ペットの入手方法（MA）

**≪野良猫問題≫**

Q14　【全員】野良猫による被害経験（SA）【目標数値】

Q15　【全員】野良猫に餌をやることに対する意識（SA）

Q16　【悪いことだと思う人】その理由（MA）

Q17　【いいことだと思う人】その理由（MA）

**≪地域猫活動≫**

Q18　【全員】「地域猫活動」について知っているか（SA）【目標数値】

Q19　【内容を知っている人】知っている取組み（MA）

**≪狂犬病対策≫**

Q20　【犬を飼っている人】毎年の予防注射を受けているか（SA）

Q21　【受けていない人】受けない理由（MA）

Q22　【全員】（内容説明後）狂犬病がこのような病であることを知っていたか（SA）

**５　検証方法**

　仮説①　Q１×SC５×Q７

　仮説②　Q１×Q９・Q１０

　仮説③　Q１×Q１１

　仮説④　Q１４×Q１５